

① 実態把握シート

班

学校の課題

女子が全体的に低い。
表現(おこす意欲)の不足!

授業のくみ立て。
比較で読む考え
立場と明確に意見を述べる力

表現力の不足

文章と読み取る力
目的意識が低い
表現力の不足
自分の考えを表現できない 詩
国 → 表現が苦手
④ 自分の考えを話しにくい
→ 国が 2.3%
型より話したい
気持ち

算
全体
個人
式、言葉(国)で記述
していない (個人) 算
数の特長を言えない 活
動(話し合い) 個人

関連付けてまとめる力

授業に達成感がない。

話し
目的意識が
低い
教師は
やっているが

記述式が弱い

平均問題 → 記述
7.9%
記述式が 4.1%
平均問題 → 7.9%
平均問題 → 7.9%
数学の考え 3.3%

ふり返り。
ふり返りの学習を行っていない
→ 27.3%

表現が
怪しい

一部の子どもで
授業

必要な情報
が取り出せない

また取り入れている
話し方、グループ活動

教師主導型

必要な条件の
取り出し
情報活用
必要の情報と見極め

必要感がない
目的をもたせない
子ども思考の流れ
に誘っていない

課題をまとめると...
学習意欲が低い。 表現する機会が少ない
授業で達成感が感じられていない。

研究主題

やる気満々! のびのび表現!

研究教科

小学校:国語・算数

中学校:全教科

目指す子供の姿

- ・意欲的に学ぶ子
- ・自分の考えや思いを、伝えようとする子。

目指す授業像

- ・一人一人が達成感を味わえる授業

研究の重点(柱) 2つ~3つ

A 授業改善

B 学級づくり

C 言語環境づくり (読書集会 表現する場 など)

A: 授業改善の視点(3つ程度)

- ① 学習課題の工夫
- ② 思考を促す教師の働きかけ
- ③ 学びの自覚化

※以下は、上記の重点A:「授業改善の視点」の中から1つまたは2つ選び検討してください。

A: 授業改善の視点に対する教師の具体的手立て

1番

- ・ 考えたくなる課題の設定 (とらえやすい、少し難しい) (必要感)
- ・ 提示の工夫 (かくす、不足、過剰、順序の入木替え)
- ・ 見通しのもたせ方 (ペア・グループ活動、どの既習 見えすぎないように 子どもの様子からどこまで決める)

A: 授業改善の視点に対する教師の具体的手立て

3番

- ・ まとめを自分で
- ・ ふり返りをかかせる。(学び方 変容)
- ・ 適用題で「できたぞ!」という実感をもたせる (わらいに治った)

③ 計画シート

L 班

月	内容
4月	研究方針の提案 講師招聘 ^① 目指す授業像の共通理解 学力向上プランの見直し
5月	提案授業 ^{PVP} 授業交流 学力調査の自校採点
6月	模擬授業 ^① 研究授業 ^① 要請訪問 学力調査の結果分析
7月	
8月	講師招聘 ^② 検証 ^① 学力調査問題の出題傾向の把握
9月	模擬授業 ^②
10月	研究授業 ^②
11月	模擬授業 ^③ 研究授業 ^③
12月	検証 ^②
1月	
2月	
3月	次年度の計画 学力向上プランの策定

